

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3873427号

(P3873427)

(45) 発行日 平成19年1月24日(2007. 1. 24)

(24) 登録日 平成18年11月2日(2006. 11. 2)

(51) Int. Cl.

F I

G 0 6 F 3/12 (2006. 01)

G 0 6 F 3/12

C

B 4 1 J 5/30 (2006. 01)

B 4 1 J 5/30

Z

請求項の数 8 (全 20 頁)

(21) 出願番号 特願平10-33842
 (22) 出願日 平成10年1月30日(1998. 1. 30)
 (65) 公開番号 特開平11-219265
 (43) 公開日 平成11年8月10日(1999. 8. 10)
 審査請求日 平成15年11月28日(2003. 11. 28)

(73) 特許権者 000005267
 ブラザー工業株式会社
 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 1 5 番 1 号
 (74) 代理人 100104640
 弁理士 西村 陽一
 (74) 代理人 100104662
 弁理士 村上 智司
 (72) 発明者 門田 政敏
 名古屋市瑞穂区苗代町 1 5 番 1 号 ブラザ
 ー工業株式会社内
 (72) 発明者 森 博己
 名古屋市瑞穂区苗代町 1 5 番 1 号 ブラザ
 ー工業株式会社内

審査官 三好 洋治

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 プリント制御システムにおける中間ファイルの加工装置及びその制御プログラムが記録された記録媒体

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータ側のアプリケーションにより作成された印刷データを、前記コンピュータ側のプリンタドライバによりプリンタに適合する印刷データに変換してプリンタに提供するプリンタ制御システムにおいて、

前記プリンタドライバにより変換された印刷データに基づきデバイスに依存しない印刷ジョブ毎の中間ファイルを形成して記憶手段に格納する中間ファイル形成手段と、

前記中間ファイル形成手段により形成された前記中間ファイルの印刷ジョブを認識して印刷ジョブ毎の前記中間ファイルをページ分割するページ分割手段と、

前記ページ分割手段によりページ分割された前記中間ファイルを加工するための指令を与える加工指令手段と、

前記加工指令手段の指令に基づきページ分割した前記中間ファイルに加工を施して新しい印刷ジョブを作成するジョブ作成手段と

を備えていることを特徴とするプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置。

【請求項 2】

前記ジョブ作成手段は、仮想化されたディスプレイ領域であるデバイスコンテキストに対してページ分割した前記中間ファイルの印刷データを設定する指示と、前記デバイスコンテキストに対して加工処理を行う指示とを出す手段、及びこれらの指示に基づいて新しい印刷ジョブを作成する手段により構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置。

10

20

【請求項 3】

前記ジョブ作成手段が新しい印刷ジョブを作成する際に、元の印刷ジョブを消去することを特徴とする請求項 2 に記載のプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置。

【請求項 4】

前記ジョブ作成手段が、ページ分割した前記中間ファイル自体に加工を施す中間ファイル加工手段と、前記中間ファイル加工手段により加工された前記中間ファイルをページ結合することにより新しい印刷ジョブを作成するページ結合手段とにより構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置。

10

【請求項 5】

前記加工指令手段は、マルチページ印刷を指令する機能を有し、前記ジョブ作成手段は、前記加工指令手段によるマルチページ印刷の指令があるときに、前記ページ分割手段により分割された複数ページを同一ページ内に形成するためのジョブを作成することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置。

【請求項 6】

前記加工指令手段は、重ね印刷を指令する機能を有し、前記ジョブ作成手段は、前記加工指令手段による重ね印刷の指令があるときに、前記ページ分割手段によりページ分割されたページの画像に重ねて別の画像を形成するためのジョブを作成することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置。

20

【請求項 7】

前記加工指令手段は、ページ入れ換え印刷を指令する機能を有し、前記ジョブ作成手段は、前記加工指令手段によるページ入れ換え印刷の指令があるときに、前記ページ分割手段によりページ分割された複数ページの間接ファイルの順番を入れ換えるためのジョブを作成することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置。

【請求項 8】

コンピュータ側のアプリケーションにより作成された印刷データを、前記コンピュータ側のプリンタドライバによりプリンタに適合する印刷データに変換してプリンタに提供するプリンタ制御システムにおける前記コンピュータを動作させる制御プログラムが読み取り可能に記録された記録媒体であって、

30

前記コンピュータを、

前記プリンタドライバにより変換された印刷データに基づきデバイスに依存しない印刷ジョブ毎の間接ファイルを形成して記憶手段に格納する中間ファイル形成手段、

前記中間ファイル形成手段により形成された前記中間ファイルの印刷ジョブを認識して印刷ジョブ毎の前記中間ファイルをページ分割するページ分割手段、

前記ページ分割手段によりページ分割された前記中間ファイルを加工するための指令を与える加工指令手段、

40

前記加工指令手段の指令に基づきページ分割した前記中間ファイルに加工を施して新しい印刷ジョブを作成するジョブ作成手段

として動作させることを特徴とする制御プログラムが記録された記録媒体。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

この発明は、コンピュータ側のアプリケーションにより作成された印刷データを、前記コンピュータ側のプリンタドライバによりプリンタに適合する印刷データに変換してプリンタに提供するプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置及びその制御プログラムが記録された記録媒体に関する。

50

【 0 0 0 2 】

【 従来の技術 】

パーソナルコンピュータ（以下、これを略してパソコンと称する）のOS (Operating System)の一つであるWindowsにおけるプリンタ制御は、例えば図16に示すようにして成される。

【 0 0 0 3 】

図16はWindows 95の場合を示しており、ユーザによってパソコン上のアプリケーション1により作成された印刷データは、Windows 95のプリンタドライバ2を介してWindows 95が提供するプログラムモジュールであるGDI (Graphics Device Interface) 3に送られ、このGDI 3により仮想化されたディスプレイ領域であるデバイスコンテキスト（以下、これをDCと称する）が作成されて、このDCの指示された座標にデバイス（プリンタ、ディスプレイ等）の種類に依存しない印刷データが格納され、仮想化されたデバイスへの描画が行われる。ここで、アプリケーション1、プリンタドライバ2及びGDI 3により印刷データ作成手段4が構成される。

10

【 0 0 0 4 】

このようにDC即ち仮想化されたデバイスに描画することで、“直線を引く”とか“ポリゴンを形成する”といった内容のコマンドファイル部及びデータファイル部から成りEMF (Enhanced Meta File)と称される中間ファイルが形成され、このEMFがコード生成手段5によって各種プリンタに応じた記述言語の制御コードに変換される。

【 0 0 0 5 】

20

このとき、プリンタの制御用コマンドはメーカ毎に仕様が異なっており、代表的なものとして、米Hewlett-Packard社のPCLや米Adobe社のPostScript (PS：登録商標)等のページ記述言語によるコマンドセットがあり、このような種々の記述言語に対応できるように、コード生成手段5によりEMFをプリンタの記述言語による制御コードに変換している。

【 0 0 0 6 】

そして、この制御コード列から成る制御用コマンドがスプーラ6によりパソコン内のハードディスク等に設けられたスプールファイル7にそのまま格納され、スプールファイル7から所定の制御用コマンドがスプーラ6により取り出されてプリンタ8に送られる。

【 0 0 0 7 】

30

ところで、マルチページ印刷、重ね印刷やページ入れ換え印刷等の特殊印刷ジョブをパソコン側で制御する場合、従来の図16のシステムでは、特殊印刷ジョブを行うための加工指令が与えられると、コード生成手段5の前段においてEMFに特殊印刷ジョブを行うために必要なコマンドを挿入するなどの加工が施され、このように加工されたEMFに基づいてコード生成手段5により制御コードを生成することが行われる。

【 0 0 0 8 】

【 発明が解決しようとする課題 】

しかし、図16に示すようなWindows 95におけるプリンタ制御システムでは、コード生成手段5により、プリンタの機種毎にその機種に応じた記述言語で特殊印刷ジョブの制御コードを生成しなければならないため、プリンタの機種に応じた記述言語による特殊印刷ジョブ毎のコード生成手段を予め準備しておかなければならず、例えば同じマルチページ印刷であってもコード生成手段を各記述言語毎に準備する必要があり、コード生成手段5によるEMFの加工処理が非常に煩雑化するという問題がある。

40

【 0 0 0 9 】

この発明が解決しようとする課題は、プリンタの機種に依存しない簡単な処理により、マルチページ印刷や重ね印刷等の特殊な印刷ジョブをパソコン側で制御できるようにすることにある。

【 0 0 1 0 】

【 課題を解決するための手段 】

上記した課題を解決するために、本発明の請求項1にかかるプリンタ制御システムにお

50

ける中間ファイルの加工装置は、コンピュータ側のアプリケーションにより作成された印刷データを、前記コンピュータ側のプリンタドライバによりプリンタに適合する印刷データに変換してプリンタに提供するプリンタ制御システムにおいて、前記プリンタドライバにより変換された印刷データに基づきデバイスに依存しない印刷ジョブ毎の中間ファイルを形成して記憶手段に格納する中間ファイル形成手段と、前記中間ファイル形成手段により形成された前記中間ファイルの印刷ジョブを認識して印刷ジョブ毎の前記中間ファイルをページ分割するページ分割手段と、前記ページ分割手段によりページ分割された前記中間ファイルを加工するための指令を与える加工指令手段と、前記加工指令手段の指令に基づきページ分割した前記中間ファイルに加工を施して新しい印刷ジョブを作成するジョブ作成手段とを備えていることを特徴としている。

10

【0011】

このような構成によれば、印刷ジョブ毎の中間ファイルがページ分割手段によりページ分割され、加工指令手段によってこれらページ分割された中間ファイルの加工指令が与えられ、この加工指令に基づき、ページ分割された中間ファイルに加工が施されて新しい印刷ジョブがジョブ作成手段により作成され、このようにしてデバイスに依存しない中間ファイルが加工されて新しい印刷ジョブの中間ファイルが形成される。

【0012】

このため、新しく形成された印刷ジョブの中間ファイルに基づいて、プリンタの機種の記事言語に応じた制御コードをコード生成手段等によって生成するといった通常の処理が可能になり、従来のようにプリンタの機種に応じた記事言語による特殊印刷ジョブ毎のコード生成手段を準備しておく必要がなく、プリンタの機種に依存しない簡単な処理により、例えばマルチページ印刷等の特殊な印刷ジョブをパソコン側で制御することができる。

20

【0013】

上記した課題を解決するために、本発明の請求項2にかかるプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置は、前記ジョブ作成手段が、仮想化されたディスプレイ領域であるデバイスコンテキストに対してページ分割した前記中間ファイルの印刷データを設定する指示と、前記デバイスコンテキストに対して加工処理を行う指示とを出す手段、及びこれらの指示に基づいて新しい印刷ジョブを作成する手段により構成されていることを特徴としている。

【0014】

30

このような構成によれば、ジョブ作成手段により、デバイスコンテキストに対してページ分割した前記中間ファイルの印刷データを設定する指示が出され、デバイスコンテキストに対して加工処理を行う指示が出されることで、加工指令手段の指令に基づきページ分割した前記中間ファイルに指示に従った加工が施されて新しい印刷ジョブが作成される。

【0015】

従って、新しく作成された印刷ジョブの中間ファイルに基づいて、コード生成手段等によりプリンタの機種の記事言語に応じた制御コードを生成するといった通常の処理が可能になる。

【0016】

上記した課題を解決するために、本発明の請求項3にかかるプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置は、前記ジョブ作成手段が新しい印刷ジョブを作成する際に、元の印刷ジョブを消去することを特徴としている。

40

【0017】

このような構成によれば、例えばジョブ作成手段によって加工された新しい印刷ジョブの中間ファイルを中間ファイル加工手段に戻すことができ、その新しい印刷ジョブの中間ファイルに基づいて、コード生成手段等によりプリンタの機種の記事言語に応じた制御コードを生成するといった通常の処理が可能になる。

【0018】

上記した課題を解決するために、本発明の請求項4にかかるプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置は、前記ジョブ作成手段が、ページ分割した前記中間ファイ

50

ル自体に加工を施す中間ファイル加工手段と、前記中間ファイル加工手段により加工された前記中間ファイルをページ結合することにより新しい印刷ジョブを作成するページ結合手段とにより構成されていることを特徴としている。

【0019】

このような構成によれば、一旦ページ分割された印刷ジョブ毎の中間ファイル自体が加工され、ページ毎に加工された中間ファイルが再び結合される。このため、管理されるジョブ名は加工前後で変わらなくとも、印刷ジョブの内容が元のものとは変更された新しい印刷ジョブが形成される。

【0020】

そのため、新しい印刷ジョブの中間ファイルを元の印刷ジョブの中間ファイルに上書きすることが可能になり、元の印刷ジョブを実行するのと同じように新しい印刷ジョブを実行することでマルチページ印刷などの特殊な印刷を行うことができる。

10

【0021】

上記した課題を解決するために、本発明の請求項5にかかるプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置は、前記加工指令手段が、マルチページ印刷を指令する機能を有し、前記ジョブ作成手段が、前記加工指令手段によるマルチページ印刷の指令があるときに、前記ページ分割手段により分割された複数ページを同一ページ内に形成するためのジョブを作成することを特徴としている。

【0022】

このような構成によれば、加工指令手段によってマルチページ印刷の指令が与えられると、ページ分割手段によって分割された複数ページを同一ページ内に形成するためのジョブがジョブ作成手段により作成される。

20

【0023】

よって、マルチページ印刷の制御を、プリンタの機種に依存しない簡単な処理によりパソコン側で行うことができる。

【0024】

上記した課題を解決するために、本発明の請求項6にかかるプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置は、前記加工指令手段が、重ね印刷を指令する機能を有し、前記ジョブ作成手段が、前記加工指令手段による重ね印刷の指令があるときに、前記ページ分割手段によりページ分割されたページの画像に重ねて別の画像を形成するためのジョブを作成することを特徴としている。

30

【0025】

このような構成によれば、加工指令手段によって重ね印刷の指令が与えられると、ページ分割手段によって分割されたページの画像に重ねて別の画像を形成するためのジョブがジョブ作成手段により作成される。

【0026】

よって、重ね印刷の制御を、プリンタの機種に依存しない簡単な処理によりパソコン側で行うことができる。

【0027】

上記した課題を解決するために、本発明の請求項7にかかるプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工装置は、前記加工指令手段が、ページ入れ換え印刷を指令する機能を有し、前記ジョブ作成手段が、前記加工指令手段によるページ入れ換え印刷の指令があるときに、前記ページ分割手段によりページ分割された複数ページの中間ファイルの順番を入れ換えるためのジョブを作成することを特徴としている。

40

【0028】

このような構成によれば、加工指令手段によってページ入れ換え印刷の指令が与えられると、ページ分割手段によって分割された複数ページの中間ファイルの順番を入れ換えるためのジョブがジョブ作成手段により作成される。

【0029】

よって、ページ入れ換え印刷の制御を、プリンタの機種に依存しない簡単な処理により

50

パソコン側で行うことができる。

【 0 0 3 0 】

上記した課題を解決するために、本発明の請求項 8 にかかるプリンタ制御システムにおける中間ファイルの加工の制御プログラムが記録された記録媒体は、コンピュータ側のアプリケーションにより作成された印刷データを、前記コンピュータ側のプリンタドライバによりプリンタに適合する印刷データに変換してプリンタに提供するプリンタ制御システムにおける前記コンピュータを動作させる制御プログラムが読み取り可能に記録された記録媒体であって、前記コンピュータを、前記プリンタドライバにより変換された印刷データに基づきデバイスに依存しない印刷ジョブ毎の中間ファイルを形成して記憶手段に格納する中間ファイル形成手段、前記中間ファイル形成手段により形成された前記中間ファイルの印刷ジョブを認識して印刷ジョブ毎の前記中間ファイルをページ分割するページ分割手段、前記ページ分割手段によりページ分割された前記中間ファイルを加工するための指令を与える加工指令手段、前記加工指令手段の指令に基づきページ分割した前記中間ファイルに加工を施して新しい印刷ジョブを作成するジョブ作成手段として動作させることを特徴としている。

10

【 0 0 3 1 】

このような構成によれば、コンピュータによりこの記録媒体に記録された制御プログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従い、印刷ジョブ毎の中間ファイルがページ分割手段によりページ分割され、これらページ分割された中間ファイルの加工指令が与えられ、この加工指令に基づき、ページ分割された中間ファイルが加工されて新しい印刷ジョブが作成され、このようにしてデバイスに依存しない中間ファイルが加工されて新しい印刷ジョブの中間ファイルが形成される。

20

【 0 0 3 2 】

このため、新しく形成された印刷ジョブの中間ファイルに基づいて、プリンタの機種の記事言語に応じた制御コードをコード生成手段等によって生成するといった通常の処理を行えばよく、従来のようにコード生成手段においてプリンタの機種に応じた記事言語による特殊印刷ジョブ毎の制御コードを準備しておく必要がなく、プリンタの機種に依存しない簡単な処理により、例えばマルチページ印刷等の特殊な印刷ジョブをパソコン側で制御できるプログラムを提供することが可能になる。

【 0 0 3 3 】

30

【発明の実施の形態】

(第 1 の実施形態)

この発明の第 1 の実施形態について図 1 ないし図 13 を参照して説明する。但し、図 1 はブロック図、図 2、図 3 は動作説明図、図 4 は動作説明用フローチャート、図 5 は動作説明図、図 6 ないし図 8 は動作説明用フローチャート、図 9 は動作説明図、図 10 は動作説明用フローチャート、図 11 は動作説明図、図 12 は動作説明用フローチャート、図 13 は動作説明用の一部のブロック図である。

【 0 0 3 4 】

本実施形態は、パソコンの OS が Windows NT である場合の例であり、図 1 に示すように、ユーザによってパソコン上のアプリケーション 11 により作成された印刷データは、Windows NT のプリンタドライバ 12 を介して Windows NT が提供するプログラムモジュールである GDI 13 に送られ、この GDI 13 により仮想化されたディスプレイ領域である DC (デバイスコンテキスト) が作成されて、この DC の指示された座標にデバイス (プリンタ、ディスプレイ等) の種類に依存しない印刷ジョブ毎の印刷データが格納され、仮想化されたデバイスへの描画が行われる。ここで、アプリケーション 11、プリンタドライバ 12 及び GDI 13 により印刷データ作成手段 14 が構成されている。

40

【 0 0 3 5 】

このように DC 即ち仮想化されたデバイスに描画することで、各ページ毎にデバイスの種類に依存しない EMF と称される中間ファイルが形成され、この EMF がスプーラ 16

50

により結合されて1つの印刷ジョブとなるように、例えばパソコン内に設けられた記憶手段であるハードディスク17にスプールファイル18として格納される。このEMFは、“直線を引く”とか“ポリゴンを形成する”といった内容のコマンドファイル部及びデータファイル部から成り、これら2つの部分から1つのジョブが構成されている。またコマンドファイル部には、マルチページ印刷、重ね印刷やページ入れ換え印刷等の特殊印刷を行うための加工情報が含まれている。これら2つのファイルのファイル名は、印刷ジョブのジョブIDを示す同一のファイル名を有し、拡張子によってコマンドファイル部であるかデータファイル部であるかの識別が行われる。

【0036】

尚、スプールファイル18は必ずしもパソコン内に設けられている必要はなく、パソコン外部の記憶手段に設けられていてもよく、要するにパソコンから管理可能な状態に存在していればよい。

【0037】

また一般にGDIと呼ばれるものには、DCの管理、EMFの形成を行うものと、DCへの処理をデバイス（例えばプリンタやディスプレイ）に依存するコマンドに変換するものとがあり、前者はOSにより提供され、後者はデバイスメーカによりドライバとして提供される。ここでは前者をGDIと呼ぶことにする。ここで、上記したGDI13及びスプーラ16により中間ファイル形成手段が構成されている。

【0038】

そして、マルチページ印刷、重ね印刷等の特殊印刷を行う場合には、スプーラ16の後段のスプールファイル加工手段20が起動され、このスプールファイル加工手段20によりスプールファイル18に格納されている印刷ジョブ毎のEMFが特殊印刷のために加工される。

【0039】

このスプールファイル加工手段20は、図1に示すように、ページ分割手段22と、DC投影手段23と、DC加工手段24と、GDI25とにより構成され、各々以下のような機能を有する。また、DC投影手段23、DC加工手段24及びGDI25により、元の印刷ジョブとは異なる新たな印刷ジョブを形成するジョブ作成手段27が構成されている。更に、図1には示されていないが、スプールファイル加工手段20には、EMFのコマンドファイル部に特殊印刷に関する加工情報が設定されているかどうかを解析してEMFを加工する指令を出す加工指令手段が設けられている。

【0040】

ページ分割手段22は、スプールファイル18のファイル名を確認して印刷ジョブを認識し、認識した印刷ジョブ毎の各ページのEMFをスプールファイル18からエンドコマンドに基づいて分割し、その各ページのEMFをRAM等に形成されるテンポラリーファイル（図示せず）にコピーする。このテンポラリーファイルは不要となった時点で消去する。

【0041】

またDC投影手段23は、対象となるDCを特定する情報と、印刷データが設定された結果のファイルを入れるためのメモリ領域の指定と、描画領域を示す情報とを付加して、特定のDCにページ分割されたEMFの印刷データを設定するようにとの指示をGDI25に対して出す機能を有しており、このDC投影手段23からの指示に基づきGDI25が処理を行うのである。

【0042】

いま、例えば図2に示すように1ページ目のEMFが、コマンド1とそのデータ、コマンド2とそのデータ、コマンド3とそのデータ及びエンドコマンドから成るとしたときに、DC投影手段23を通すことによって、図3に示すようにコマンド1ないし3とその各々のデータに加えて、特殊印刷のために必要な数だけのコマンド及びデータがコマンド3のデータとエンドコマンドとの間に付加されたEMFが新たに形成される。

【0043】

10

20

30

40

50

更に D C 加工手段 2 4 は、D C 投影手段 2 3 によって形成された新たな E M F の加工処理を行う指示を G D I 2 5 に出す機能を有しており、この D C 加工手段 2 4 からの指示に基づき G D I 2 5 が処理を行うのである。

【 0 0 4 4 】

このときの加工処理について具体的に説明すると、O S が提供する G D I 2 5 により、加工指令手段によってコピーされた E M F のコマンドファイル部が解析されてどのように加工すべきかという加工情報がまず取得され、取得された加工情報に基づき、D C 投影手段 2 3 によって形成された新たな E M F の付加された領域に、G D I 2 5 により特殊印刷のための必要な制御コマンド及びそのデータが書き込まれ、これによって新しい印刷ジョブの E M F が作成され、作成された新しい印刷ジョブの E M F がスプーラ 1 6 に戻される。

10

【 0 0 4 5 】

また、ページ分割手段 2 2 により所定の E M F がコピーされた後に、ジョブ作成手段 2 7 によりスプーラ 1 6 が起動されて、スプールファイル 1 8 に格納されているその加工された元の E M F が消去されて元の印刷ジョブの抹消が行われるようになっている。

【 0 0 4 6 】

更に、作成された新しい印刷ジョブの E M F をスプーラ 1 6 に戻すようにしたことで、新しい印刷ジョブをすぐ後段のコード生成手段 2 9 に渡してプリンタ 3 0 で印刷するといったように同期的に処理する必要がなくなり、E M F の加工処理の実施時間幅等に自由度を持たせることが可能になる。

20

【 0 0 4 7 】

ところで実際には、上記したようなスプールファイル加工手段 2 0 による E M F の加工のための制御プログラムが例えばパソコンに設けられたハードディスク等の記憶装置に格納されており、必要に応じてパソコンのプログラムを実行するためにメモリである R A M 等に移され、この制御プログラムが起動されることで、マルチページ印刷等の特殊印刷のために E M F の加工が行われるのである。

【 0 0 4 8 】

そして、このようにスプールファイル加工手段 2 0 により形成されてスプーラ 1 6 に戻された新しい印刷ジョブの E M F は、そのままコード生成手段 2 9 に送られ、コード生成手段 2 9 により、新しい印刷ジョブの E M F が各種プリンタに応じた言語の制御コードに変換されてプリンタ 3 0 に送られる。

30

【 0 0 4 9 】

次に、スプールファイル加工の手順について説明する。

【 0 0 5 0 】

図 4 に示すように、印刷データ作成手段 1 4 により形成されたある印刷ジョブの E M F のコマンドファイル部に加工情報に関する設定があるかどうかについて、スプールファイル加工手段 2 0 の加工指令手段により E M F のコマンドファイル部が解析されてその判定がなされ (ステップ S 1)、この判定結果が N O であれば E M F の加工の必要性がないため動作はそのまま終了し、判定結果が Y E S であれば、その印刷ジョブの E M F の全ページがスプーラ 1 6 によりスプール完了されるまで待機状態となる (ステップ S 2)。尚、この間スプール中であることがチェックされる。

40

【 0 0 5 1 】

続いて図 4 に示すように、ページ分割手段 2 2 により、スプールファイル 1 8 に格納されている E M F の印刷ジョブの認識が行われ、所定の印刷ジョブの E M F がスプールファイル 1 8 からテンポラリーファイルにコピーされた後 (ステップ S 3)、スプールファイル 1 8 に格納されているそのコピーされた E M F が消去されて元の印刷ジョブが抹消される (ステップ S 4)。

【 0 0 5 2 】

そして図 4 に示すように、ページ分割手段 2 2 により、コピーされた E M F がページ単位に分割され (ステップ S 5)、ステップ S 1 において解析されたどの特殊印刷を行うか

50

という結果に基づき、ページ分割された E M F の加工等の処理が行われ（ステップ S 6 ）、その後動作は終了する。

【 0 0 5 3 】

次に、上記したステップ S 6 の処理に該当する各種の特殊印刷毎の処理を個別に説明する。

【 0 0 5 4 】

まず、図 5 に示すように、ページ分割された複数のページを同一ページ内に形成するいわゆる 4 in 1、2 in 1 等の N in 1 と称されるマルチページ印刷のための処理について説明する。

【 0 0 5 5 】

図 6 に示すように、上記した図 4 のステップ S 5 の処理によって、ページ分割手段 2 2 により E M F がページ単位に分割されると、N in 1 を行うために D C の座標及びスケールの変換処理が行われ（ステップ S 1 1 ）、このように変換された座標系に各ページの E M F が投影、即ち各ページの E M F の印刷データが D C に設定され（ステップ S 1 2 ）、その後動作は終了する。

【 0 0 5 6 】

ところで、上記したステップ S 1 1 及び S 1 2 の処理について、4 in 1 及び 2 in 1 を例として具体的に説明する。

【 0 0 5 7 】

まず 4 in 1 の場合には、図 7 に示すように、処理しようとしている E M F のページが（ $4n + 1$ ）ページか否かの判定がなされ（ステップ S 2 1 ）、この判定結果が Y E S であれば第 m ページを 4 分割したうちの左上半部に（ $4n + 1$ ）ページ目の E M F の印刷データを設定すべく座標変更 マル 1 が行われる（ステップ S 2 2 ）。このとき、座標変更は、 $X' = aX + bY + c$ 、 $Y' = dX + eY + f$ の式に基づいてなされ、係数 a、b、d、e で回転及びスケール、c、f で平行移動が定義される。尚この座標変更は、O S の機能によりなされる。

【 0 0 5 8 】

続いて図 7 に示すように、ステップ S 2 1 の判定結果が N O であれば、処理しようとしている E M F のページが（ $4n + 2$ ）ページか否かの判定がなされ（ステップ S 2 3 ）、この判定結果が Y E S であれば第 m ページを 4 分割したうちの右上半部に（ $4n + 2$ ）ページ目の E M F の印刷データを設定すべく座標変更 マル 2 が行われ（ステップ S 2 4 ）、ステップ S 2 3 の判定結果が N O であれば、処理しようとしている E M F のページが（ $4n + 3$ ）ページか否かの判定がなされ（ステップ S 2 5 ）、この判定結果が Y E S であれば第 m ページを 4 分割したうちの左下半部に（ $4n + 3$ ）ページ目の E M F の印刷データを設定すべく マル 3 座標変更が行われる（ステップ S 2 6 ）。 30

【 0 0 5 9 】

更に図 7 に示すように、第 m ページを 4 分割したうちの右下半部に（ $4n + 4$ ）ページ目の E M F の印刷データを設定すべく座標変更 マル 4 が行われ（ステップ S 2 7 ）、その後ステップ S 2 2、S 2 4、S 2 6 の各処理を経た後と共にステップ S 2 8 に移行し、ステップ S 2 8 においてページ分割された E M F の全ページについてこのような座標変更が終了したか否かの判定がなされ（ステップ S 2 8 ）、この判定結果が N O であればステップ S 2 1 に戻り、判定結果が Y E S であればページ分割された E M F の全ページについての処理が完了したとして動作は終了する。 40

【 0 0 6 0 】

続いて 2 in 1 の場合には、図 8 に示すように、印刷された情報を読むときに要旨が縦長になるように印刷されるポートレートか、横長になるように印刷されるランドスケープかの判定がなされ（ステップ S 3 1 ）、ポートレートである場合には、処理しようとしている E M F のページが奇数ページか否かの判定がなされ（ステップ S 3 2 ）、この判定結果が Y E S であれば縦長ページを上下に 2 分割したうちの上半部に奇数ページの E M F の印刷データを設定すべく座標変更 マル 5 が行われ（ステップ S 3 3 ）、ステップ S 3 2 の判 50

10

20

30

40

50

定結果がNOであれば縦長ページを上下に2分割したうちの下半部に偶数ページのEMFの印刷データを設定すべく座標変更マル6が行われる(ステップS34)。

【0061】

一方、上記したステップS31の判定の結果がランドスケープである場合には、処理しようとしているEMFのページが奇数ページか否かの判定がなされ(ステップS35)、この判定結果がYESであれば横長ページを左右に2分割したうちの左半部に奇数ページのEMFの印刷データを設定すべく座標変更マル7が行われ(ステップS36)、ステップS35の判定結果がNOであれば横長ページを左右に2分割したうちの右半部に偶数ページのEMFの印刷データを設定すべく座標変更マル8が行われる(ステップS37)。

【0062】

その後、図8に示すようにステップS33、S34、S36の各処理を経た後と共にステップS38に移行し、ステップS38においてページ分割されたEMFの全ページについてこのような座標変更が終了したか否かの判定がなされ(ステップS38)、この判定結果がNOであればステップS31に戻り、判定結果がYESであればページ分割されたEMFの全ページについての処理が完了したとして動作は終了する。

【0063】

次に、ある画像に重ねて別の画像を印刷する重ね印刷について、図9に示すような“Confidential”の文字や、“秘”の文字のように下の画像が透過するように2つの画像をすかし印刷するための処理について説明する。

【0064】

図10に示すように、上記した図4のステップS5の処理によって、ページ分割手段22によりEMFがページ単位に分割されると、所定のDCに対してページ分割されたEMFの印刷データが設定され(ステップS51)、印刷用紙のサイズやすかし文字の文字数、すかし文字の用紙に対する印刷角度等から、すかし文字の大きさ及び印刷位置の計算が行われ(ステップS52)、上記したステップS51でEMFの印刷データが設定されたDCに対し、ステップS52で計算されたすかし文字の印刷データが重ねて設定され(ステップS53)、その後動作は終了する。

【0065】

ここで、図10のステップS51～S53の処理を、逆にステップS53、S52、S51の順で行うとすかし文字が元の画像の下に印刷されることになる。

【0066】

更に、図11に示すように、ページ分割された複数ページの間中ファイルの順番を入れ換え、フェイスアップ印刷のように先頭と最終を逆に入れ換えて印刷したり、マニュアルデュプレックス印刷のように用紙の両面に連続したページ順で印刷するといったページ入れ換え印刷のための処理について説明する。

【0067】

図12に示すように、上記した図4のステップS5の処理によって、ページ分割手段22によりEMFがページ単位に分割されると、フェイスアップ印刷ならn、n-1、n-2、...、2、1の順、デュプレックス印刷なら奇数ページ及び偶数ページ逆順となるようにページ計算が行われ(ステップS71)、ページ分割されたEMFがステップS71で計算されたページ順で取り出される(ステップS72)。

【0068】

ここで、マニュアルデュプレックス印刷の場合には、まず印刷用紙にこの印刷ジョブの奇数ページの印刷を行った後、オペレータがその印刷された用紙を裏返して再度残りのページ(偶数ページ)を印刷するという形態になる。このため、1つの印刷ジョブを奇数ページの印刷ジョブと偶数ページの印刷ジョブに分けて、2つのジョブの間にオペレータの処理が入られるようにするのがよい。そのため、取り出された奇数ページの裏面に偶数ページを印刷するためにジョブの分割が行われる。

【0069】

そして、取り出されたEMFがDCに投影、即ち取り出された各ページのEMFの印刷

10

20

30

40

50

データが所定の D C に設定されてページ順の入れ換えが行われ (ステップ S 7 3) 、その後動作は終了する。

【 0 0 7 0 】

このように、スプールファイル加工手段 2 0 のページ分割手段 2 2 により、印刷ジョブ毎の E M F がページ分割され、ジョブ作成手段 2 7 によりページ分割された E M F に所定の加工が施されて新しい印刷ジョブが作成される。このとき、特定の D C にページ分割された E M F の印刷データを設定するようにとの指示を D C 投影手段 2 3 から G D I 2 5 に対して出し、この D C 投影手段 2 3 によって形成された新たな E M F の加工処理を行う指示を D C 加工手段 2 4 から G D I 2 5 に出すことで、G D I 2 5 の機能により新しい印刷ジョブが作成される。

10

【 0 0 7 1 】

そのため、新しく作成された印刷ジョブの E M F は、加工前の E M F と同様にデバイスの種類に依存せず、従来のようにプリンタの機種毎にその機種に応じた記述言語で特殊印刷のためのコード生成手段を準備する必要がなく、その結果新しい印刷ジョブの E M F に基づいて、コード生成手段 2 9 によりプリンタ 3 0 の機種の記述言語に応じた制御コードを生成するといった通常の処理が可能になる。

【 0 0 7 2 】

例えば図 1 3 に示すように、P C L プリンタ 3 0 a や P S プリンタ 3 0 b に対応するには、P C L 用のコード生成手段 2 9 a や P S 用のコード生成手段 2 9 b により、新たに形成された印刷ジョブの E M F を各々の記述言語による制御コードに変換すればよい。

20

【 0 0 7 3 】

従って、第 1 の実施形態によれば、新しく形成された印刷ジョブの中間ファイルに基づいて、プリンタの機種の記述言語に応じた制御コードをコード生成手段等によって生成するといった通常の処理が可能になり、従来のようにプリンタの機種に応じた記述言語による特殊印刷ジョブ毎のコード生成手段を準備しておく必要がなく、プリンタの機種に依存しない簡単な処理により、例えばマルチページ印刷等の特殊な印刷ジョブをパソコン側で制御することができる。

【 0 0 7 4 】

また、特定の D C に対してページ分割した E M F の印刷データを設定し、その D C に対して加工処理を行うことで新しい印刷ジョブを作成することができるため、新しく作成された印刷ジョブをそのままコード生成手段 2 9 によりプリンタ 3 0 の記述言語に応じた制御コードを生成するといった通常の処理が可能になる。

30

【 0 0 7 5 】

なお、上記した第 1 の実施形態では、新しく作成された印刷ジョブをスプーラ 1 6 に戻す場合について説明したが、新しい印刷ジョブをそのままコード生成手段 2 9 に送るようにしてもこの発明を実施することが可能で、第 1 の実施形態と同等の効果を得ることができる。

【 0 0 7 6 】

また、本実施形態においては、G D I 1 3 と G D I 2 5 を別のプログラムモジュールとして説明したが、D C に対して処理を行う共通のモジュールとして 1 つに構成してもよい。

40

【 0 0 7 7 】

(第 2 の実施形態)

この発明の第 2 の実施形態について図 1 4 及び図 1 5 を参照して説明する。但し、図 1 4 は一部のブロック図、図 1 5 は動作説明用フローチャートである。

【 0 0 7 8 】

本実施形態も第 1 の実施形態と同様に、パソコンの O S が W i n d o w s N T である場合の例であり、基本的な構成は第 1 の実施形態とほぼ同じであるため、以下においては図 1 ないし図 1 3 も参照しつつ、主として第 1 の実施形態と相違する点について説明する。

【 0 0 7 9 】

50

図 1 4 に示すように、アプリケーション 1 1、プリンタドライバ 1 2 及び G D I 1 3 から成る印刷データ作成手段 1 4 により、デバイスの種類に依存しない印刷ジョブ毎の E M F が形成されると、この E M F がスプーラ 1 6 によりパソコン内のハードディスク 1 7 のスプールファイル 1 8 に格納される。

【 0 0 8 0 】

そして、マルチページ印刷、重ね印刷等の特殊印刷を行うために、スプールファイル 1 8 に格納されている印刷ジョブ毎の E M F を加工するスプールファイル加工手段 4 0 が設けられ、このスプールファイル加工手段 4 0 は、図 1 4 に示すように、ページ分割手段 4 2 と、中間ファイル加工手段である E M F 加工手段 4 3 と、ページ結合手段 4 4 とにより構成され、各々以下のような機能を有する。

10

【 0 0 8 1 】

また、E M F 加工手段 4 3 及びページ結合手段 4 4 により、元の印刷ジョブとは異なる新たな印刷ジョブを形成するジョブ作成手段 4 5 が構成されている。更に、図 1 4 には示されていないが、スプールファイル加工手段 4 0 には、E M F のコマンドファイル部に特殊印刷に関する加工情報が設定されているかどうかを解析して E M F を加工する指令を出す加工指令手段が設けられている。

【 0 0 8 2 】

ページ分割手段 4 2 は、図 1 におけるページ分割手段 2 2 と同じ機能を有し、スプールファイル 1 8 のファイル名を確認して印刷ジョブを認識し、認識した印刷ジョブ毎の各ページの E M F をスプールファイル 1 8 からエンドコマンドに基づいて分割し、その各ページの E M F を R A M 等に形成されるテンポラリーファイル（図示せず）に選択的にコピーする。このテンポラリーファイルは不要となった時点で消去する。

20

【 0 0 8 3 】

次に E M F 加工手段 4 3 は、ページ分割された E M F 自体に加工を施し、例えば図 2 に示すようなページ分割された 1 ページ目の E M F が、コマンド 1 とそのデータ、コマンド 2 とそのデータ、コマンド 3 とそのデータ及びエンドコマンドから成るとしたときに、特殊印刷のために必要な数だけのコマンド及びデータを図 3 に示すようにコマンド 3 のデータとエンドコマンドとの間に付加する機能を有する。

【 0 0 8 4 】

またページ結合手段 4 4 は、E M F 加工手段 4 3 により加工された E M F をページ再結合することによって新しい印刷ジョブを作成し、作成した新しい印刷ジョブの E M F をスプールファイル 1 8 に格納されている元の印刷ジョブに対して上書きすることにより、スプーラ 1 6 に新しい印刷ジョブの E M F を渡す機能を有する。

30

【 0 0 8 5 】

このとき、作成される新しい印刷ジョブは、内容は元の印刷ジョブと変更されていてもジョブ名は同一であり、管理されるジョブ名は加工前後で変わることはない。そのため、スプーラ 1 6 によるスプールファイル 1 8 の上書きが可能になり、元の印刷ジョブは新しい印刷ジョブにより上書きされるので、印刷されることはない。

【 0 0 8 6 】

ところで実際には、上記したようなスプールファイル加工手段 4 0 による E M F の加工のための制御プログラムが例えばパソコンに設けられたハードディスク等の記憶装置に格納されており、必要に応じてパソコンのプログラムを実行するためにメモリである R A M 等に移され、この制御プログラムが起動されることで、マルチページ印刷等の特殊印刷のために E M F の加工が行われるのである。

40

【 0 0 8 7 】

そして、このようにスプールファイル加工手段 4 0 により加工されてスプーラ 1 6 により上書きされた新しい印刷ジョブの E M F がコード生成手段 2 9 に送られて、コード生成手段 2 9 によって新しい印刷ジョブの E M F が各種プリンタに応じた言語の制御コードに変換され、プリンタ 3 0 に送られる。

【 0 0 8 8 】

50

次に、スプールファイルの加工動作について説明する。

【 0 0 8 9 】

図 1 5 に示すように、印刷データ作成手段 1 4 により形成されたある印刷ジョブの E M F のコマンドファイル部に加工情報に関する設定があるかどうかについて、スプールファイル加工手段 4 0 の加工指令手段により E M F のコマンドファイル部が解析されてその判定がなされ（ステップ S 1 0 1 ）、この判定結果が N O であれば E M F の加工の必要性がないため動作はそのまま終了し、判定結果が Y E S であれば、その印刷ジョブの E M F の全ページがスプーラ 1 6 によりスプール完了されるまで待機状態となる（ステップ S 1 0 2 ）。尚、この間スプール中であることがチェックされる。

【 0 0 9 0 】

続いて、ページ分割手段 4 2 により、スプールファイル 1 8 に格納されている E M F の印刷ジョブの認識が行われ、所定の印刷ジョブの E M F がスプールファイル 1 8 からテンポラリーファイルにコピーされた後（ステップ S 1 0 3 ）、コピーされた E M F がページ単位に分割される（ステップ S 1 0 4 ）。

【 0 0 9 1 】

そして、マルチページ印刷や重ね印刷等の各種の特殊印刷のためのコマンドが、ページ分割された E M F に付加されて E M F の加工が行われた後（ステップ S 1 0 5 ）、ページ毎に加工された E M F が再結合されて新しい印刷ジョブの E M F が作成され、スプーラ 1 6 によりこの新しい印刷ジョブの E M F が元の印刷ジョブに上書きされ（ステップ S 1 0 6 ）、その後動作は終了する。

【 0 0 9 2 】

ところで、ステップ S 1 0 5 における各種の特殊印刷のための E M F の加工処理は、基本的には第 1 実施形態において説明した内容と同様である。

【 0 0 9 3 】

まず、図 5 に示すような 4 in 1、2 in 1 等のマルチページ印刷の場合には、図 6 のステップ S 1 1 及び S 1 2 の D C に対する処理に代えて、座標変更を行うコマンドや、縮小印刷を指示するスケール変更コマンドや、印刷方向を設定するコマンドをページ分割された E M F に付加するという処理を行う。ここでの座標及びスケール変更処理といった処理の詳細は、D C に対する処理は行われませんが、図 7、図 8 に示す 4 in 1、2 in 1 の処理ルーチンと同様である。

【 0 0 9 4 】

次に、図 9 に示すようなすかし文字を印刷する重ね印刷の場合には、図 1 0 のステップ S 5 1 における所定の D C に対するページ分割された E M F の印刷データの設定という処理がなく、図 1 0 のステップ S 5 2 の処理と同じく印刷用紙のサイズやすかし文字の文字数、すかし文字の用紙に対する印刷角度等から、すかし文字の大きさ及び印刷位置を計算するという処理が行われた後、図 1 0 のステップ S 5 3 の処理とは若干異なり、ページ分割された E M F に対して前のステップで計算した文字の大きさ等のデータを印刷するというコマンドを付加する処理が行われる。

【 0 0 9 5 】

また、図 1 1 に示すように、ページ分割された複数ページの間中ファイルの順番を入れ換え、フェイスアップ印刷のように最終ページから降順になるように入れ換えて印刷するページ入れ換え印刷の場合には、図 1 2 のステップ S 7 1、S 7 2 と同様の処理が行われた後、ステップ S 7 3 とは異なり、前のステップ S 7 1、S 7 2 において計算されたページ順で取り出された E M F に対して、その取り出された順で印刷するというコマンドを付加する処理が行われる。

【 0 0 9 6 】

従って、第 2 の実施形態によれば、上記した第 1 の実施形態の場合と同様、新しく形成された印刷ジョブの E M F に基づいて、プリンタの機種種の記述言語に応じた制御コードをコード生成手段等によって生成するといった通常の処理が可能になり、従来のようにプリンタの機種に応じた記述言語による特殊印刷ジョブ毎のコード生成手段を準備しておく必

10

20

30

40

50

要がなく、プリンタの機種に依存しない簡単な処理により、例えばマルチページ印刷等の特殊な印刷ジョブをパソコン側で制御することができるという効果が得られる。

【0097】

特に、一旦ページ分割された印刷ジョブ毎のEMF自体が加工され、ページ毎に加工されたEMFが再び結合されるため、管理されるジョブ名は加工前後で変わらなくとも、印刷ジョブの内容が元のものとは変更された新しい印刷ジョブを形成することができ、新しい印刷ジョブのEMFを元の印刷ジョブのEMFに上書きすることにより、元の印刷ジョブを実行するのと同じように新しい印刷ジョブを実行することでマルチページ印刷等の特殊な印刷を行うことができる。

【0098】

なお、上記した各実施形態では、スプールファイル加工手段20、40によるEMFの加工のための制御プログラムをパソコンに設けられたハードディスクに格納した場合について説明したが、これらのEMFの加工のための制御プログラムを記録媒体としてのフレキシブルディスク等に格納しておき、パソコンにより上記のフレキシブルディスクから制御プログラムを読み出し、読み出した制御プログラムに基づいてEMF等の中間ファイルを加工するようにしてもよい。

【0099】

また、上記した各実施形態では、特殊印刷としてマルチページ印刷、重ね印刷、ページ入れ換え印刷に適用した場合について説明したが、本発明はこれら以外にも適用することが可能であるのは勿論である。

【0100】

更に本発明は、上記した各実施形態に限定されるものではなく、この発明の趣旨から逸脱しない範囲で任意に変更することも可能である。

【0101】

【発明の効果】

以上のように、請求項1に記載の発明によれば、新しく形成された印刷ジョブの中間ファイルに基づいて、プリンタの機種の記述言語に応じた制御コードをコード生成手段等によって生成するといった通常の処理が可能になるため、プリンタの機種に依存しない簡単な処理により、マルチページ印刷等の特殊な印刷ジョブをパソコン側で制御することができる。

【0102】

また、請求項2に記載の発明によれば、ページ分割した中間ファイルを特定のデバイスコンテキストに対して投影するため、新しく作成された印刷ジョブの中間ファイルに基づいて、コード生成手段等によりプリンタの機種の記述言語に応じた制御コードを生成するといった通常の処理が可能になる。

【0103】

また、請求項3に記載の発明によれば、新しい印刷ジョブを作成する際に、元の印刷ジョブを消去するため、ジョブ作成手段によって作成された新しい印刷ジョブの中間ファイルを中間ファイル加工手段に戻すことができ、その新しい印刷ジョブの中間ファイルに基づいて、コード生成手段等によりプリンタの機種の記述言語に応じた制御コードを生成するといった通常の処理が可能になる。

【0104】

また、請求項4に記載の発明によれば、一旦ページ分割された印刷ジョブ毎の中間ファイル自体が加工され、ページ毎に加工された中間ファイルが再び結合されて新しい印刷ジョブが作成されるため、新しい印刷ジョブの中間ファイルに基づいて、コード生成手段等によりプリンタの機種の記述言語に応じた制御コードを生成するといった通常の処理が可能になる。

【0105】

更に、管理されるジョブ名は加工前後で変わらなくとも、印刷ジョブの内容が元のものとは変更された新しい印刷ジョブが形成されるため、新しい印刷ジョブの中間ファイルを

10

20

30

40

50

元の印刷ジョブの中間ファイルに上書きすることができるようになり、元の印刷ジョブを実行するのと同じように新しい印刷ジョブを実行することでマルチページ印刷などの特殊な印刷を行うことが可能になる。

【 0 1 0 6 】

また、請求項 5 に記載の発明によれば、マルチページ印刷の制御を、プリンタの機種に依存しない簡単な処理によりパソコン側で行うことができる。

【 0 1 0 7 】

また、請求項 6 に記載の発明によれば、重ね印刷の制御を、プリンタの機種に依存しない簡単な処理によりパソコン側で行うことができる。

【 0 1 0 8 】

また、請求項 7 に記載の発明によれば、ページ入れ換え印刷の制御を、プリンタの機種に依存しない簡単な処理によりパソコン側で行うことができる。

【 0 1 0 9 】

また、請求項 8 に記載の発明によれば、新しく形成された印刷ジョブの中間ファイルに基づいて、プリンタの機種の記述言語に応じた制御コードをコード生成手段等によって生成するといった通常の処理を行えばよく、プリンタの機種に依存しない簡単な処理により、マルチページ印刷等の特殊な印刷ジョブをパソコン側で制御できるプログラムを提供することが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 この発明の第 1 の実施形態のブロック図である。

【図 2】 第 1 の実施形態の動作説明図である。

【図 3】 第 1 の実施形態の動作説明図である。

【図 4】 第 1 の実施形態の動作説明用フローチャートである。

【図 5】 第 1 の実施形態の動作説明図である。

【図 6】 第 1 の実施形態の動作説明用フローチャートである。

【図 7】 第 1 の実施形態の動作説明用フローチャートである。

【図 8】 第 1 の実施形態の動作説明用フローチャートである。

【図 9】 第 1 の実施形態の動作説明図である。

【図 10】 第 1 の実施形態の動作説明用フローチャートである。

【図 11】 第 1 の実施形態の動作説明図である。

【図 12】 第 1 の実施形態の動作説明用フローチャートである。

【図 13】 第 2 の実施形態の動作説明用の一部のブロック図である。

【図 14】 この発明の第 2 の実施形態の一部のブロック図である。

【図 15】 第 2 の実施形態の動作説明用フローチャートである。

【図 16】 この発明の背景となるシステムのブロック図である。

【符号の説明】

1 1 アプリケーション

1 2 プリンタドライバ

1 3 G D I (中間ファイル形成手段)

1 6 スプーラ (中間ファイル形成手段)

1 7 ハードディスク (記憶手段)

1 8 スプールファイル (記憶手段)

2 0 、 4 0 スプールファイル加工手段

2 2 、 4 2 ページ分割手段

2 3 D C 投影手段

2 4 D C 加工手段

2 5 G D I

2 7 、 4 5 ジョブ作成手段

3 0 プリンタ

4 3 E M F 加工手段

10

20

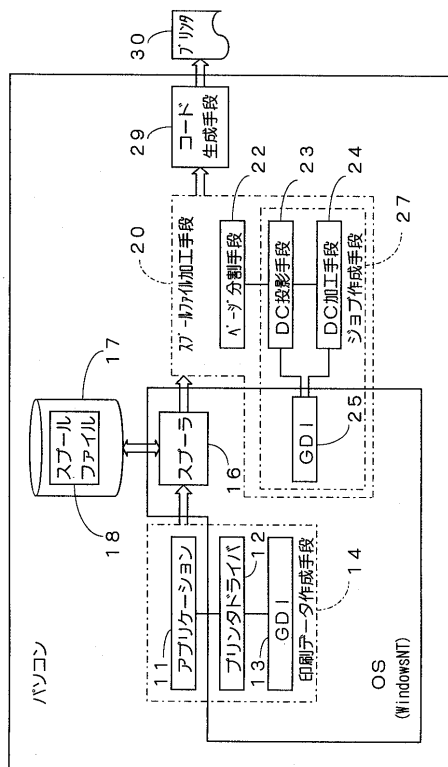
30

40

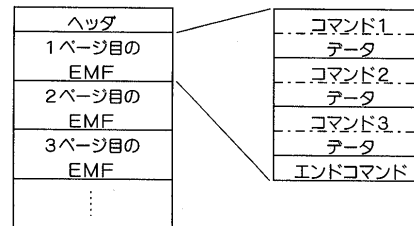
50

4 4 ページ結合手段

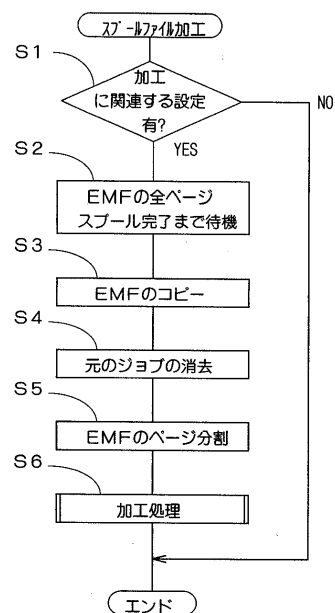
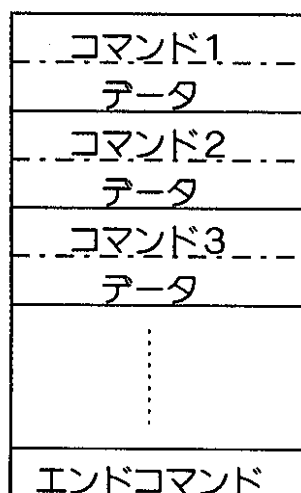
【図 1】



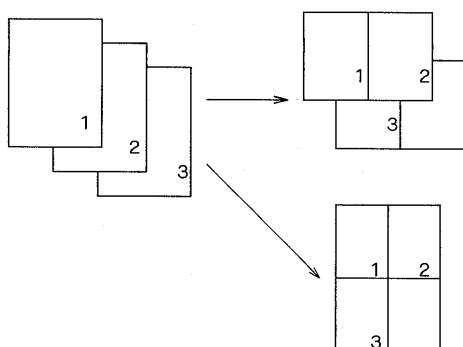
【図 2】



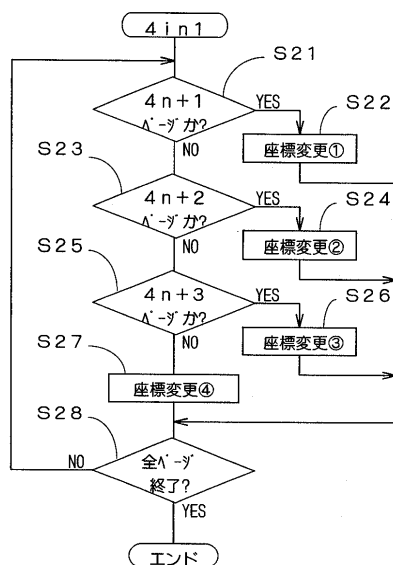
【 図 4 】



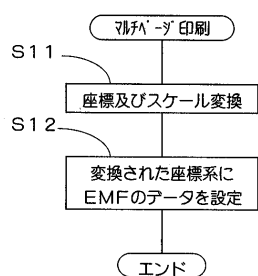
【圖 5】



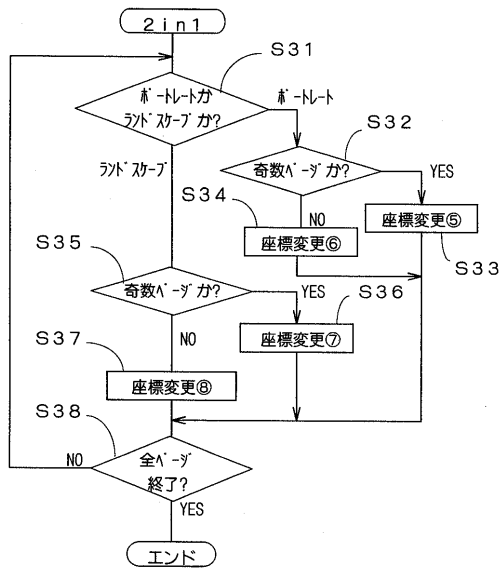
【圖 7】



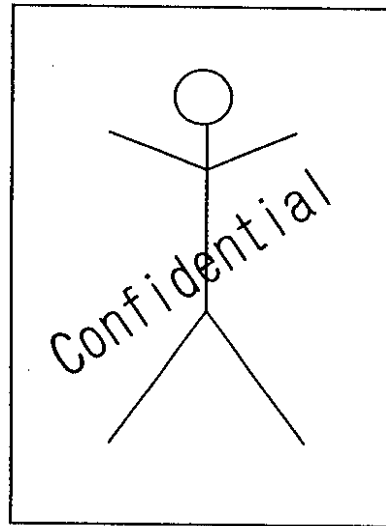
【 図 6 】



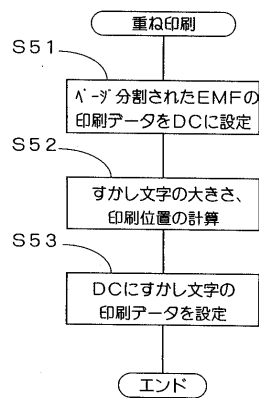
【図 8】



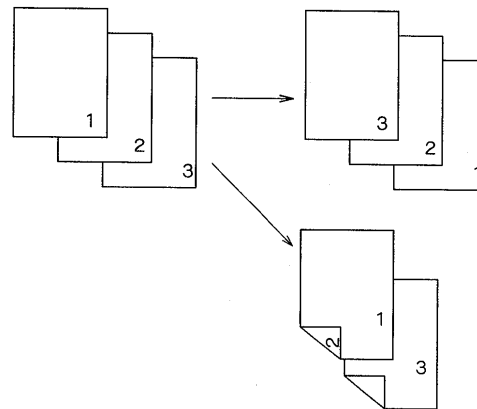
【図 9】



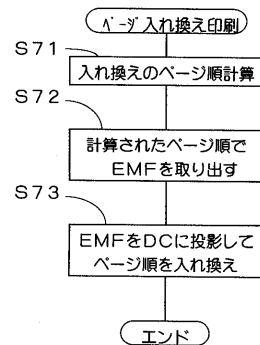
【図 10】



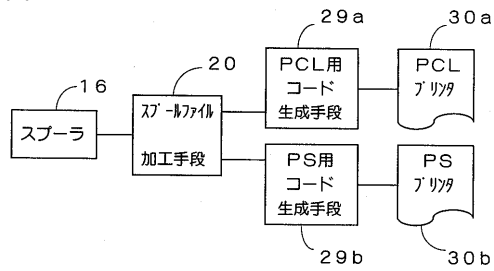
【図 11】



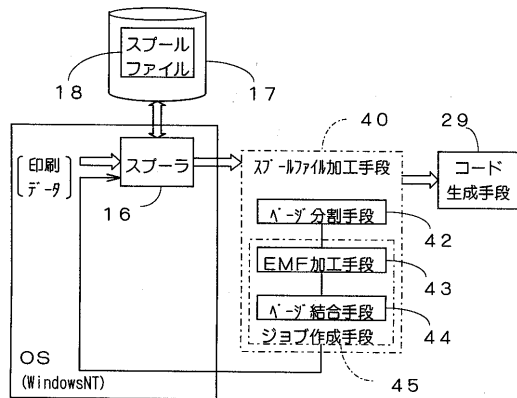
【図 12】



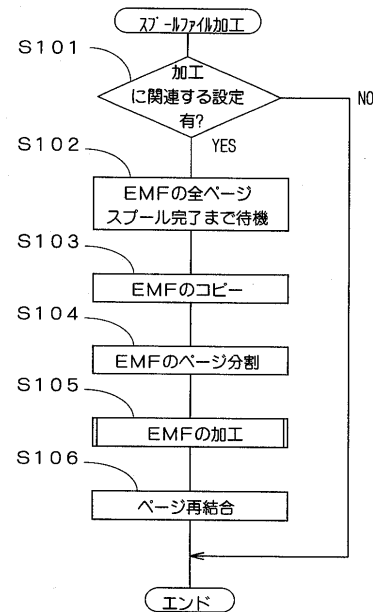
【図13】



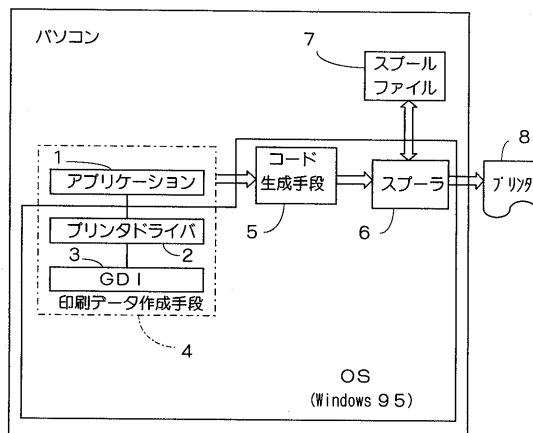
【図14】



【図15】



【図16】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開平 1 1 - 1 6 7 4 7 5 (J P , A)
特開平 1 1 - 1 8 4 6 6 2 (J P , A)
特許第 3 5 0 7 3 1 8 (J P , B 2)
特開平 1 1 - 1 6 7 4 7 6 (J P , A)
特開平 1 1 - 1 7 9 9 9 3 (J P , A)
特開平 1 0 - 3 0 9 8 4 1 (J P , A)
特開平 1 1 - 0 9 9 7 2 2 (J P , A)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

G06F 3/12

B41J 5/30